

“テクノフェア2000”開催

3,900名のお客さまと熱心な対話

当技術開発本部では、去る平成12年10月4日(水)5日(木)の2日間テクノフェア2000を開催いたしました。電気利用技術研究棟新築を記念して発足以来10回目を数える今回は、従来からの研究棟での職場公開の他、昨年に引き続き集中展示場所を特設し、「環境に優しい技術」を基本テーマとして近年の経営環境変化に対応した柔軟かつ戦略的な研究開発状況を紹介しました。

会場の特設パビリオンは初日から行政関係者、大学関係者、学生や一般企業からの多くの人で埋まり、初日だけで2000名弱の来場をいただきました。結果として二日間で昨年を上回る3900名もの来場をいただき、研究活動を通して技術開発本部ならびに中部電力をご理解いただく一助とすることができました。

昨年より一回り広くしたテーマパビリオンでは、未来を先取りした研究を始め多方面にわたる研究成果に各所で立錫の余地のない盛況ぶりでした。関心が高かった人気のコーナーはクリーンエネルギーとして実用化が期待される燃料電池を始め、電気抵抗ゼロの超電導ケーブルや世界初の磁気冷凍システムなど。また、家庭内の電気機器に関する研究成果にも質問が飛び交っていました。一方特許紹介コーナーでも専門的な質問が多数寄せられるなど世間の関心の深さに驚く結果となりました。

今回の特徴としては例年になく各地の事業所より多数の大口のお客さまに来場いただけ、当社の多方面にわたる研究紹介を通じ、中部電力のご理解を深めるよい機会であったと考えています。また、当社関係会社の展示コーナーには23社からご協力をいただき多彩なPRが展開されていましたが、会場内の案内看板不足など事務局の課題も残りました。想定以上の来場をいただいた結果細かい配慮を欠き、一部不愉快な思いをされたお客さまに対しお詫び申しあげ、また来年も今回の反省結果を反映し万全の体制を組んでよりよいフェアを開催したいと考えていますので、多数の皆様のお来場を期待しています。



熱心な説明に聴き入る来場者

第1表 来場者の内訳

区 分	来場者数
行政関係者	200名
大学など研究関係者	390
一般企業	1810
学 生	580
社 員	930
合 計	3910名

社長メッセージ

中部電力は
明日の技術をリードする。

今、最新の技術開発状況をお届けします。



第2表 団体のお客さま

団体名	人数
静岡支店大口お客さま(2件)	65名
静岡営大口のお客さま	40
清水営大口のお客さま	45
多治見営大口のお客さま	63
長野営大口のお客さま	40
諏訪茅野大口のお客さま	30
飯田支店大口のお客さま	20
商工会議所(2件)	40
民生協会ほか	66
電気技術者協会(2件)	76
大 学	100
工業高校(5件)	323
合 計	908名



詳細なデータは技術開発本部ホームページをご覧ください。